

令和2年度

第2回広尾町総合教育会議 議案

日	時	令和2年12月1日(火) 午後1時30分
場	所	コミセン大ホール

広 尾 町

広尾町教育大綱

(平成27年度～令和2年度)

豊かな心を育み文化を高めるまちづくり

将来を担う子どもたちが、社会で生き抜く力を身に付け、思いやりの心や責任感を育むことができるよう、学校、家庭、地域が連携し、子どもたちを守り育てます。

生涯を通じて学び続けることができる環境を整備し、だれもが心身ともに健康で生き生きと暮らせる環境をつくります。

教育、文化、スポーツの振興により豊かな心を育み、学習の成果が地域に生かされ、社会の発展に貢献できる人づくりを目指します。

1. 社会で生き抜く力を育てる

- ① 新しい知識、情報、技術に対応し、心豊かでたくましい子どもの育成を目指します。
- ② 自然体験や表現活動などを中心に、学びの原点である幼児教育の充実を目指します。
- ③ 「確かな学力」「思いやりの心」「健やかな体力」を養い、子どもたちが社会で生き抜く力を育てます。
- ④ 安全で安心できる学校施設の整備と学習環境の充実を図ります。
- ⑤ 中高一貫教育をはじめとする特色ある学校づくりを目指します。

2. 生涯を学びゆとりを育む

- ① 学校・家庭・地域が連携して青少年の健全育成に取り組むとともに、家庭教育の向上を目指します。
- ② 生涯学習情報の提供に努め、経験や技能を活用した世代間交流の展開を目指します。
- ③ 芸術鑑賞の機会を提供し、自発的な文化活動を促進します。
- ④ 地域の特色ある文化財・郷土芸能を保存・伝承し、創造性豊かなまちとしての魅力向上を目指します。
- ⑤ 誰もが気軽にスポーツを楽しみ、心身ともに健康に生き生きと暮らせる環境づくりを目指します。

次 第

1 開会

2 町長あいさつ

3 協議・調整事項

(1) 教職員の働き方改革について

(2) 広尾町教育委員会の懸案事項について

(3) その他

4 閉会

広尾町立学校職員 勤務時間実績
(週の合計勤務時間の平均)

年度	期間	広尾小	豊似小	広尾中	備考
平成30年度	9月	41:35	35:14	46:05	
	10月	48:52	43:17	47:45	
	11月	48:18	43:18	53:24	
	12月	35:34	34:03	41:09	
	1月	33:28	32:10	40:16	
	2月	43:22	41:49	50:21	
	3月	44:23	37:59	43:25	
	年間	42:13	38:16	46:04	※全学校平均 42:53
令和元年度	4月	49:47	40:32	51:14	
	5月	46:56	39:10	46:44	
	6月	49:40	40:13	50:21	
	7月	43:58	39:43	49:08	
	8月	27:04	29:09	33:34	
	9月	45:14	36:34	46:13	
	10月	46:50	40:14	46:04	
	11月	45:55	39:05	46:32	
	12月	38:53	36:29	37:14	
	1月	29:41	28:22	34:08	
	2月	38:47	37:14	42:07	2/27~2/29 臨時休校
	3月	40:11	36:22	35:15	3/1~3/31 臨時休校
	年間	41:55	36:56	43:13	※全学校平均 41:29
令和2年度	4月	41:30	35:59	40:31	4/20~4/30 臨時休校
	5月	32:24	21:55	29:53	5/1~5/31 臨時休校
	6月	49:39	43:16	47:17	
	7月	44:58	39:35	44:51	7/27~7/31 登校日
	8月	33:42	30:35	34:50	8/3~8/7 登校日
	9月	42:24	38:40	41:02	
	10月	45:27	42:42	48:12	
	年間	41:26	36:06	40:57	※全学校平均 40:10

<参考> 第6次まちづくり推進総合計画に示す成果目標

- ・ 現 状 (令和元年度) 44時間 ※4~11月実績
- ・ 中間目標 (令和7年度) 43時間
- ・ 最終目標 (令和12年度) 42時間

□懸案事項の課題解決進捗状況調査表 (H30～R2年度町長ヒアリング分)

No.	①協議事項(箇条書き)	②所管係	④現状(H30.4.1現在)	④現状(H31.4.1現在)	⑤現状(R2.7.1現在)
			□ すでに解決 □ 解決の見込み ■ 未定 平成30年度の広尾高校新1年生は40名となった(41名より2学級編成となる)。今後、1学級編成となった場合の減少が予測される。 ○参考＜広尾中学校生徒数＞ H29 181名 H30 170名 H31 161名 H32 149名 H33 143名 H34 151名 H35 145名 ※ H31以降は住基(H29.7現在)からの推計	□ すでに解決 □ 解決の見込み ■ 未定 平成31年度の広尾高校新1年生は41名となり2学級となったが、今後も更なる学齢児童生徒数の減少が予測される。 今後、1学級編成となった場合の対応を検討していく。 皆添校長は、「CSになれば閉校になることはなく、平成32年度から実施予定。」 中学校3年生生徒数 H31 60名 H32 50名 H33 46名 H34 46名 H35 40名 H36 57名 H37 45名	□ すでに解決 □ 解決の見込み ■ 未定 令和2年度の広尾高校新1年生は46名となり2学級となったが、今後も更なる学齢児童生徒数の減少が予測される。 今後、1学級編成となった場合の対応を検討していく。 高校スクールバスの運行については、小中学校便に同乗することにより経費をかけずに実施できた。 中学校3年生生徒数 R2 50名 R3 46名 R4 46名 R5 40名 R6 56名 R7 44名 R8 33名
1	広尾高等学校の存続	学校教育係	*ヒアリング結果* 中学生への指導について、高校と連携して充実を図るように。高校の魅力アップ対策に多くの予算を費やしている。成果を上げるように。	*ヒアリング結果* 了知。(新たな懸案事項)広尾高校スクールバス運行に係る経費増額約200万円の財源確保を行うこと。	*ヒアリング結果* 了知。コロナウイルスの関係で中止になった大手予備校講習に替わるもの考えるように。
2	中学生海外派遣の縮小充実について	学校教育係	■ すでに解決 □ 解決の見込み □ 未定 平成29年度より負担金を5万円に減額し、家庭の費用負担軽減を図った。 また、派遣人数を12人から8人に縮小したことで、質の高い海外研修派遣が実施できた。	□ すでに解決 □ 解決の見込み ■ 未定 一旦中止の検討。①中学生にとって、語学力向上に9日間の海外研修が本当に効果的か。②滞在先であるアメリカが本当に安全安心と言えるのか。③受け入れ先の不備。また、ホストファミリーやスケジュールに変更が生じる。④旅行経費がこの10年間で一人当たり約60万円に増加した。単価は更に増額される見込みである。高校生の海外派遣(カナダ)に同行する形や、姉妹市町である西海市への訪問など、中学生の学校外の教育的活動について、どのようなものが有効かを検討していく。しかいて、早期の旅行は学校の時数にも影響を与えるため、その日程や内容については高校や中学校も含めて調整していく必要がある。高校生海外派遣の経費は一人当たり約20万円である。 【追記】南十勝4町村で協同で海外研修を行う検討を進めている。中間業者を使わずに実施すること、一人当たり経緯の削減が図られる。	□ すでに解決 □ 解決の見込み ■ 未定 今年度の海外派遣はコロナウイルス感染拡大防止のため中止となったが前年度同様に検討を進める必要がある。南十勝4町村での共同研修は実現しなかったが、更別村がシンガポールへの派遣を検討しており実施した場合は検討材料としたい。 11月11日開催の中高生等海外研修派遣推進協議会において中学生の海外派遣をシンガポールに変更することを提案して承された。(変更理由:時差による身体的負担の軽減、学習環境の向上、コロナ対策・感染状況を含めた安全の確保)
			ヒアリング結果 了知。	*ヒアリング結果* 了知。見直しを進めること。(200万円程度削減し、高校生スクールバス運行経費に充てるにできるように)	*ヒアリング結果* 了知。新年度に向けた見直しを進めること。

No.	①協議事項(箇条書き)	②所管係	④現状(H30.4.1現在)	④現状(H31.4.1現在)	⑤現状(R2.7.1現在)
3	教員住宅・閉校施設(旧野塚中等)の解体	総務係	☐ すでに解決 ☒ 解決の見込み ☐ 未定 ○閉校施設:豊似中学校、野塚小学校、野塚中学校、音調津小中学校 ○その他施設:旧学校給食センター、野塚プール ○教員住宅: <広尾地区>ひ-1、2、10、54-55、56-58 <豊似地区>と-1、2、7、8、16 <野塚地区>の-2、3、6、7、8-9、10-11 <音調津地区>お-2、3、4、5-6、7-8、9-10、11 老朽化が進行する建物が多々あり、計画的に解体撤去を進める必要がある。	☐ すでに解決 ☐ 解決の見込み ☒ 未定 ○閉校施設:豊似中学校、野塚小学校、野塚中学校 ○その他施設:旧学校給食センター、野塚プール ○教員住宅: <広尾地区>ひ-1、2、10、54-55、56-58 <豊似地区>と-1、2、7、8、16 <野塚地区>の-2、3、6、7、8-9、10-11 <音調津地区>お-2、3、4、5-6、7-8、9-10、11 老朽化が進行する建物が多々あり、計画的に解体撤去を進める必要がある。	☐ すでに解決 ☐ 解決の見込み ☒ 未定 ○閉校施設:豊似中学校、野塚小学校、野塚中学校、音調津小中学校 ○その他施設:旧学校給食センター、野塚プール ○教員住宅: <広尾地区>ひ-1、2、10、54-55、56-58(5棟) <豊似地区>と-1、2、7、8、16(5棟) <野塚地区>の-2、3、6、7、8-9、10-11(6棟) <音調津地区>お-2、3、4、5-6、7-8、9-10、11(7棟) 今年度の補正予算により旧教員住宅4棟を取り壊すが、教員住宅以外にも老朽化により取り壊しが必要な建物が多々あり、計画的に解体撤去を進める必要がある。
4	スクールバスの運行について	総務係	☐ すでに解決 ☐ 解決の見込み ☒ 未定 中学校便の増便(紋別線・東豊似線)で、現在6路線を運行している。 高校生の乗車(音調津)や中学校の部活、大会等の運行が複雑となり、運行管理業務が膨大となっている。 委託については、運行管理業務(配車)を任せることができないためメリットが少なく、その後、共立メンテナンスからも提案や連絡が無い。 【課題】 運転手の確保(高齢化) 児童生徒数の変動による路線の見直し(十勝バス含む) 高額な車両管理費(毎年車検が必要)	☐ すでに解決 ☐ 解決の見込み ☒ 未定 中学校便の増便(紋別線・東豊似線)で、現在6路線を運行している。 高校生の乗車(音調津)や中学校の部活、大会等の運行が複雑となり、運行管理業務が膨大となっている。 委託については、運行管理業務(配車)を任せることができないためメリットが少なく。 【課題】 運転手の確保(高齢化) 児童生徒数の変動による路線の見直し(十勝バス含む) 高額な車両管理費(毎年車検が必要)	☐ すでに解決 ☐ 解決の見込み ☒ 未定 中学校便の増便(紋別線・東豊似線)で、現在6路線を運行している。 高校生の乗車や中学校の部活、大会等の運行が複雑となり、運行管理業務が膨大となっている。 委託については、運行管理業務(配車)を任せることができないためメリットが少ない。 【課題】 運転手の確保(高齢化) 児童生徒数の変動による路線の見直し(十勝バス含む) 高額な車両管理費(毎年車検が必要)
			ヒアリング結果 了知。(年次計画で実施)	*ヒアリング結果* 了知。(年次計画で実施)	*ヒアリング結果* 了知。入居中の教員住宅の草刈り等環境整備お金をかけてもやらせること。(校長・教頭会議での指導徹底)
			ヒアリング結果 了知。(年次計画で実施)	*ヒアリング結果* 了知。(年次計画で実施)	*ヒアリング結果* 了知。(課題は運転手の確保)

No.	①協議事項(箇条書き)	②所管係	④現状(H30.4.1現在)	④現状(H31.4.1現在)	⑤現状(R2.7.1現在)
5	音調津総合センター駐車場整備工事	社会教育係	☐ すでに解決 ☐ 解決の見込み ■ 未定 【現状】 ・地域からの要望で、センター正面駐車場の凹凸整備(約400万円)、砂利駐車場の舗装化(約1,000万円)について予算要求を行っているが、緊急性に乏しいとの判断から改善には至っていない。地域貢献で実施できないか相談したが、そのレベルではないとのこと。	☐ すでに解決 ☐ 解決の見込み ■ 未定 緊急性が無いことから経過観察とする。	☐ すでに解決 ☐ 解決の見込み ■ 未定 緊急性が無いことから経過観察とする。
			ヒアリング結果	*ヒアリング結果*	*ヒアリング結果*
			了知。	了知。	了知。
6	音調津総合センター物置増設工事	社会教育係	☐ すでに解決 ☐ 解決の見込み ■ 未定 【現状】 ・地域からの要望で、センター大ホール直結の物置を新築(約500万円)し、ホール後方に露出した状態になっているテラスやイスを収納したいとのこと。毎年予算要求を行っているが、緊急性に乏しいとの判断から改善には至っていない。	☐ すでに解決 ☐ 解決の見込み ■ 未定 緊急性が無いことから経過観察とする。	☐ すでに解決 ☐ 解決の見込み ■ 未定 音調津PG場の道具入れとして使用していた、教員住宅用物置の更新に、政策空家とした公住の物置の移設を補正対応予定である。物置の片側(1棟2戸分)を町内会に提供できるかも？ センター直結の物置は経過観察。
			ヒアリング結果	*ヒアリング結果*	*ヒアリング結果*
			了知。	了知。	センター直結は、引き続き経過観察とする。
7	生涯学習センターの建設	社会教育係	☐ すでに解決 ☐ 解決の見込み ■ 未定 【現状】 ・第5次まちづくり推進総合計画や広尾町生涯学習推進計画<第2次計画>の登録事業であるが、費用工面に目途がたらず、実施計画年度の先送りを繰り返している。	☐ すでに解決 ☐ 解決の見込み ■ 未定 6次計に登録しない。	☐ すでに解決 ☐ 解決の見込み ■ 未定 6次計に登録しない。
			ヒアリング結果	*ヒアリング結果*	*ヒアリング結果*
			了知。(第6次まち計には登録しない)	第5次計の実施計画最終年に設計費用が計上されているが、ここからは削除し、第6次計画策定作業の中で実施の可否を委員会に協議してもらう。	まち計の策定委員会等で、登録しないことについて反対意見が無かったことから、予定通り登録しない。
			未改修。 屋根等の塗装などに約100万円の費用負担が見込まれることから、経過観察とする。	☐ すでに解決 ☐ 解決の見込み ■ 未定 経過観察とする。	☐ すでに解決 ☐ 解決の見込み ■ 未定 屋根にかかる枝等については直営で伐採した。経過観察とする。
8	シーサイドパークゴルフ場クラブハウス改修工事	旧スポーツ係	了知。(屋根にかかる樹木の枝をはらうように)	*ヒアリング結果*	*ヒアリング結果*
			了知。経過観察とする。(屋根塗装、枝払いについては、状態を見て、業者発注か、教委巡回公務補が行うか検討)		枝払い処理済み。引き続き経過観察とする。

No.	①協議事項(箇条書き)	②所管係	④現状(H30.4.1現在)	④現状(H31.4.1現在)	⑤現状(R2.7.1現在)
9	野外活動施設(キャンプ場)改修工事	旧スポーツ係	□ すでに解決 □ 解決の見込み ■ 未定 未改修。改修(炊事場・屋根・外壁の塗装、フアミリー・キャビンの改修、D型ハウスの外壁塗装、トイレの屋根塗装、トイレ・炊事場給水ユニット及び排水ポンプ取替)には約1,650万円の費用負担が見込まれることから、水回りの不具合のみを適宜修繕していくこととする。	□ すでに解決 □ 解決の見込み ■ 未定 利用者は1,000人/年程度、このうち町民の利用は、スポーツ少年団本部のほかは1世帯程度である。 改修には多額の費用が掛かること。野外活動施設設置の趣旨も薄らぎ、施設の廃止を検討するべき。 歳入: 野外活動施設利用料 419千円(H30) 歳出: 野外活動施設費 3,974千円(H30) 多額の費用を加え、営業を続けるべきか判断するべき。 【追記】一般開放を休止し、青少年の野外活動施設として維持する考えもある(管理人不要)。ゴミ置き場の基礎も破損している。	□ すでに解決 □ 解決の見込み ■ 未定 左に加え、故障中の施設改修費等に数千万円かかる見込みであり、R3年度予算では維持管理費を要求せず、廃止したい。 老朽化したテントサイトは直営で撤去済み、キャンプ解体工事は発注済み。
10	町民プールボイラー更新及び配管改修工事	旧スポーツ係	*ヒアリング結果* 了知。(施設の配置図を作成し、残すものと除却するものを検討する) □ すでに解決 □ 解決の見込み ■ 未定 未改修。 改修(老朽化したボイラー・配管の取替)には約1,100万円の費用負担が見込まれることから、経過観察とする。	*ヒアリング結果* 最低限の機能(トイレ、炊事場)を維持する場合の設備改修費用を積算すること。※担当課とH31当初予算にて、ボイラーのオイルバーナーとファンモーターケーシングの取替え修繕を計上し延命を図る。 ボイラー、配管(塩ビ管)の取替えについては経過観察とする。	*ヒアリング結果* まち計の「キャンプ場の再整備を図る」を「キャンプ場の再整備を検討する」に修正し、次年度の廃止も視野に検討。 □ すでに解決 □ 解決の見込み ■ 未定 6次計に大規模改修として掲載予定。その際プール本体、ボイラー更新、照明のLED化を含める。 プール水槽部分はステンレスの板で更新して長寿命化を図る。 3千万円以上であれば、スポーツジムの対象(TOTOくじ: 水槽改修が条件)2/3助成。残額は起債で対応。
11	町営丸山球場の整備	旧スポーツ係	*ヒアリング結果* 了知。 □ すでに解決 □ 解決の見込み ■ 未定 未整備。 整備には多額の費用(約1,000万円)が発生するため、経過観察とする。	*ヒアリング結果* 経過観察とする。 H31補正予算にて重機運搬費及び借上げ費を計上予定。直営(車両センター)にて、壊れた排水トラフ撤去及び素掘り削溝の土砂上げによる排水確保予定。 @176千円	*ヒアリング結果* □ すでに解決 □ 解決の見込み ■ 未定 6次計に大規模改修として掲載予定。暗渠工事、グラウンド整備、バックネット改修、スコアボード更新等。 1億円未満であれば、スポーツジムの対象(TOTOくじ: 内野外野フィールド改修が条件)2/3助成。残額は起債で対応。 平取町で1億円の助成実績あり。
12	町営スキー場リフトの更新	旧スポーツ係	*ヒアリング結果* 了知。 □ すでに解決 □ 解決の見込み ■ 未定 未更新。 更新には多額の費用(約1,000万円)が発生するため、経過観察とする。	*ヒアリング結果* 経過観察とする。 了知。グラウンド部分は土、砂を敷設し、経過観察とする。 □ すでに解決 □ 解決の見込み ■ 未定	*ヒアリング結果* □ すでに解決 □ 解決の見込み ■ 未定 高齢化と人員不足から、日本ケープルによるリフトに係る保守点検ができない旨、打診有。安全確保ができない事、リフトの更新費用が高額であることから、R2年度から閉鎖したい。

No.	①協議事項(箇条書き)	②所管係	④現状(H30.4.1現在)	④現状(H31.4.1現在)	⑤現状(R2.7.1現在)
13	図書館電算化システム導入	図書館係	☐ すでに解決 ☐ 解決の見込み ■ 未定 *ヒアリング結果* 了知。	☐ すでに解決 ☐ 解決の見込み ■ 未定 *ヒアリング結果* 了知。	☐ すでに解決 ■ 解決の見込み ☐ 未定 コロナ対策としてR2実施予定。 *ヒアリング結果* 了知。
14	移動図書館バスの更新	図書館係	☐ すでに解決 ☐ 解決の見込み ■ 未定 *ヒアリング結果* 了知。	☐ すでに解決 ☐ 解決の見込み ■ 未定 【追記】後部のステップが破損している。 *ヒアリング結果* 了知。	☐ すでに解決 ■ 解決の見込み ☐ 未定 コミュニティ助成を用いてR2更新。発注済み。 *ヒアリング結果* 了知。
15	専門職(有資格者)等の長期雇用	図書館係	☐ すでに解決 ☐ 解決の見込み ■ 未定 *ヒアリング結果* 了知。	☐ すでに解決 ☐ 解決の見込み ■ 未定 *ヒアリング結果* 了知。会計別任用職員に移行。	☐ すでに解決 ☐ 解決の見込み ☐ 未定 会計年度任用職員となり、解決済み。 *ヒアリング結果* 了知。
16	平日の臨時職員の雇用	図書館係	☐ すでに解決 ☐ 解決の見込み ■ 未定 *ヒアリング結果* 了知。	☐ すでに解決 ☐ 解決の見込み ■ 未定 *ヒアリング結果* 了知。	☐ すでに解決 ☐ 解決の見込み ■ 未定 R2から職員の連続した週休2日の取得を促し、働き方改革実施中。そのために必要となる会計年度任用職員報酬は補正予算で対応予定。 *ヒアリング結果* 了知。
17	児童福祉会館の駐車場整地	図書館係	☐ すでに解決 ☐ 解決の見込み ■ 未定 *ヒアリング結果* 了知。	☐ すでに解決 ☐ 解決の見込み ■ 未定 【追記】砂利敷きで対応(車両係に数均しを依頼) *ヒアリング結果* 了知。	☐ すでに解決 ☐ 解決の見込み ■ 未定 6次計に登載予定。生涯学習センター建設用基金を財源に使用する。 *ヒアリング結果* 了知。
18	大ホール舞台の幕の更新	図書館係	☐ すでに解決 ☐ 解決の見込み ■ 未定 *ヒアリング結果* 了知。	☐ すでに解決 ☐ 解決の見込み ■ 未定 【追記】幕の更新に数百万円かかる。 *ヒアリング結果* 了知。	☐ すでに解決 ☐ 解決の見込み ■ 未定 6次計に登載予定。生涯学習センター建設用基金を財源に使用する。 *ヒアリング結果* 了知。
19	児童福祉会館の放送機器の更新	図書館係	☐ すでに解決 ☐ 解決の見込み ■ 未定 *ヒアリング結果* 了知。	☐ すでに解決 ☐ 解決の見込み ■ 未定 【追記】マイク2本は更新済。本体(放送卓)は部品交換が困難な状況。 *ヒアリング結果* 了知。	☐ すでに解決 ☐ 解決の見込み ■ 未定 6次計に登載予定。生涯学習センター建設用基金を財源に使用する。 *ヒアリング結果* 了知。

No.	①協議事項(箇条書き)	②所管係	④現状(H30.4.1現在)	④現状(H31.4.1現在)	⑤現状(R2.7.1現在)
			☐ すでに解決 ☐ 解決の見込み ■ 未定 【現状・課題】 現在、旧広尾小学校の空き教室を利用し、町内の陶芸サークルやジャズスクールが活動場所として使用している。しかし、旧広尾小学校は消防法上で「非特定防火対象物」に位置付けられており、不特定多数の人間が出入りする場合には、防火管理者の選任や消防用設備の設置が義務付けられており、概算で1,000万円程度の費用負担が発生する見込みである。 【今後の方向性】 ジャズスクールの主な活動についてはコミセン大ホールを活用することとし、陶芸サークルについても今後活動場所の変更(幼稚園?)を視野に検討していく。	☐ すでに解決 ☐ 解決の見込み ■ 未定 幼稚園や広尾保育所の施設を利用する場合でも。特定防火対象物(不特定多数の人が利用する防火対象物)に指定されているので、防火管理者の選任や消防用設備の設置が義務付けられる。	☐ すでに解決 ☐ 解決の見込み ■ 未定 の—ま広尾の移転に伴い、利用者のいなくなる林業振興センターの活用を考える。
20	旧広尾小学校の利活用	社会教育係	*ヒアリング結果*	*ヒアリング結果*	*ヒアリング結果*
			了知。	了知。	陶芸サークルが林業振興センターで活動するのは、距離の関係もあり現実的でないため、引き続き代替案を検討